

令和7年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校運営協議会

日時：令和8年2月5日（木）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

委員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長
	金子 久美子	吹田東高等学校 後援会会長
	佐伯 勇	甲南女子大学 教授
	飯田 亮真	アLEGRO法律事務所 弁護士
事務局	田尻 誠	吹田東高等学校 校長
	山室 裕	吹田東高等学校 教頭
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	淵上 陸人	吹田東高等学校 首席
	丸山 勉	吹田東高等学校 指導教諭

◆開会挨拶

大阪府立吹田東高等学校 校長 田尻 誠

◆議 事

○報告事項

(1) 授業アンケートの結果および授業力向上委員会からの報告について 《資料①》

(田尻校長より資料説明)

○第2回実施時期・方法

- ・令和7年12月18日（2年・3年）、12月23日（1年）Google フォーム入力方式
- ・アンケート結果 個人の集計結果（全員）、記述内容（該当教員のみ）を返却
- ・自身で数値やフリーアンサーに記述された意見については分析し対策を校長に報告（予定）
- ・第2回授業アンケートは8月～12月末までの結果となる。

○結果分析

【学校平均】

- ・令和7年度の1回目の授業アンケートはこれまで以上に高い値であったため、第2回は若干の低下傾向となった。それでも令和6年度よりも高い値である。
- ・最も重視している「授業に関する生徒の意識1・2」についても、第1回とほぼ同じ値を示している。
- ・学校教育自己診断においても、生徒の授業満足度は飛躍的に伸びた令和3年度が82%、その後は令和4年度77%、令和5年度は74%の満足度となり下がっていたが、令和6年度は84%と上昇し、今年度も86%と高い値を維持した。

【教員集団分析】

- ・非常勤講師の先生方は、持ちコマが少なく、生徒と触れる機会も少ないにもかかわらず、高い平均値を出していただいていることは、高く評価すべきである。

- ・令和6年度は非担任（常勤28名）の平均値がやや上昇。生徒にとっての「慣れ・身近さ」は必要であるという裏付けになったという報告をしたが、今年度は全体の傾向通り、若干の低下となった。第1回が高い値であり、これ以上の値を得るためには「慣れ・身近さ」だけでは生徒の満足度を得るのが難しいレベルに達してきていると考えられる。

○本校の授業改善活動

- ・中間考査後より公開授業週間を実施し、各教員1回は他の教員の授業を見学し「授業観察シート」を指導教諭に提出した。
- ・今年度は公開授業週間において、1人1台端末を使用した授業を研究授業の対象とし、11の授業で公開授業と研究討議会を行った（11月中旬）。さらに1月下旬には、授業力向上委員会の活動の一環として、「すいひの力」の教員間での再共有、生徒の意欲を引き出す授業の実践例などの共有を行った。

○授業力向上委員会・DXハイスクール・就学保障委員会・総合探究 共有・報告会

- ・授業力向上委員会
 - ①今年度の取組みについて
授業力向上委員会の活動概要の報告
 - ②意欲の向上 ～スイヒの力～
「すいひの力」（すすむ、いかしあう、ひろげる）のキーワードとして「意欲」に注目し、具体的に授業にどのように取り入れるのかの実践例や研究発表
 - ③Teamsの活用
業務改善の一環として、Teamsの活用の方法やメリットの検証。同時に今の業務形態の課題や改善点を明確にした
- ・DXハイスクール
直島研修報告
7月13日に実施した直島研修（対話型鑑賞）の報告と、なぜ今アートなのか、鑑賞教育の目的などの研究発表
- ・就学保障委員会報告
就学保障（不登校遠隔授業等）の方針や規定についての確認、活動報告、課題の報告と共有
- ・総合探究報告
総合探究活動の方針および3年間の流れや教員の役割と大切なポイント、今年度の活動報告、課題の報告と共有

Q 委員 就学保障の不登校遠隔授業は何名ぐらいの生徒が対象となり利用しているのか。

A. 3年生が5名で1年生が4名。

Q 委員 すべての授業を遠隔で受講できるのか。

A. 座学はすべて受講できる。実技・実習科目はスクーリング等を行っている。

Q 委員 全教科において行う上での課題等はあるのか。

A. 評価については今後も検討が必要。

Q 委員 配信は教室にカメラを設置しているのか。

A. 朝にChromebookを設置し放課後回収している。

Q 委員 登校して授業を受けている生徒と同じ扱いになるのか。

A. 進級や卒業をめざす単年度のもので、履修できる単位数の上限もある。

Q 委員 「すいひの力」が身についたかを生徒自身が把握し、学校として評価するための取組みはどのようにしているか。

A. 生徒が意識できるように「すいひの力」を見える化して教室掲示している。学校経営計画において今年度は中期的目標の授業力向上の項目に記載していたが、来年度は学校生活全体の項目に記載した。

生徒自身の評価も行いたい。

教科によってはギミックブラッシュアップシートを取り入れ生徒が振り返りを行っている。

(2) 学校教育自己診断について 《資料②》

(淵上首席より資料説明)

○結果と分析

- ・アンケート全体では、過去2年間と比較して、生徒・保護者ともに多くの項目で肯定的回答が上昇している。一部の項目では肯定的回答率が減少しているが、肯定的回答が上昇した項目数は、保護者で15項目、生徒で19項目となっている。なお、保護者の肯定的回答率の上昇については、今年度より回答方法をGoogleフォームに切り替えたことにより回収率が減少した影響も一因としてあるのかと考えている。
- ・「吹田東高校に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は、生徒と保護者とも上昇している。今後も、学習活動をはじめ、部活動や学校行事の充実に努め、肯定的評価が得られるよう取り組んでいく。
- ・生徒指導に関する項目では、生徒・保護者ともに肯定的回答が70%を超えている。校則等については、「ルールメイキングの会」を中心とした見直しも含め、今後も検討を継続していく。
- ・学校行事に関する項目は今年度も上昇した。本校がめざす生徒像である「主体的に考え行動できる生徒」や「すいひの力」の周知が、その一因であると考えられる。
- ・「授業」に関する満足度は、昨年度に引き続き上昇している。今後も授業アンケートの結果を参考にしながら、より良い授業づくりに努めていく。
- ・「進路指導」に関する肯定的回答率は例年高く、今年度はやや減少したものの、高い水準を維持している。一方、学校教員による講習に関する項目は97.6%と、非常に高い評価となっている。
- ・「施設・設備」に関する満足度は、生徒と保護者とも高い数値を維持しつつ、引き続き上昇傾向にある。DXハイスクール認定を受けて実施してきた設備投資の効果が寄与していると考えられる。
- ・保護者の「公開授業や文化祭・体育祭、講演会などの学校行事に出席したことがある」の肯定的回答は、昨年度に引き続き上昇し、高い水準を維持している。
- ・1人1台端末については、多くの授業で効果的に活用されており、満足度は年々上昇している。今年度は88.7%の生徒が活用満足していると回答した。リーディングGIGAハイスクール認定校として、教員全体に1人1台端末の有効活用を周知してきた成果であると考えられる。
- ・Webページの閲覧率は、昨年度から公式Instagramを開設し、学校行事や部活動等の情報発信を強化したことにより、今年度も上昇傾向にある。公式Instagramが、生徒・保護者への情報発信の有効な手段となっていることがうかがえる。
- ・教職員に関する項目では、肯定的回答が、多くの項目で上昇傾向を示している。

Q.委員 教員の講習に参加した生徒の人数が少ないのは対象生徒を特定しての実施なのか。

A. 任意の講習で、夏期講習や冬期講習等である。

Q.委員 教職員アンケートにおいて、教職員の組織的な取り組みの数値が上昇しているがどのような取り組みがあるのか。

A. 外部講師による研修の場における教職員間の話し合いや若手教員へのサポート体制ができています。

(3) 令和7年度学校経営計画の達成状況について 《資料③》

(田尻校長より資料説明)

○本年度の自己評価の達成状況の説明

Q.委員 家庭学習時間の増加が伸び悩んでいるように思われるが何か原因はあるか。

A. 授業アンケートの結果からも課題や提出物の授業の取組みについて同じ傾向が見受けられる。課題の内容等も各教科で検討が必要かも。

Q.委員 それに対して学力に影響している傾向は無いか。

A. 本校だけでなく、学習意欲が低下しているというデータが出ている。

委員 学力の捉え方も変わってきていると思う。

委員 効率よく学習できれば時間が短縮できるのでは。

(4) 不登校生徒等を対象とした遠隔授業、通信教育について

(淵上首席より説明)

○本校の取り組みについての説明

Q.委員 遠隔授業において、機材のトラブル時の対応はどうしているか。

A. コロナ禍では少しあったが今はトラブルがほぼ無い。あれば係で対応している。

Q.委員 朝起きられない生徒の対応として、授業を録画しているのか。

A. 遠隔授業で履修を認定する場合は、オンデマンドはできない。必ず授業に参加しなければいけない。

(5) 2科展の実施について

(丸山指導教諭より説明)

○協議事項

(1) 令和8年度学校経営計画について 《資料④》

(校長より資料④の令和8年度学校経営計画及び学校評価の説明)

○「すいひの力」を3に移動

授業だけでなく教育活動全体として育んでいく

○新たに6労働安全衛生管理体制の充実を追記

働き方改革をより進めていく

【令和8年度学校経営計画のめざす学校像及び中期的目標は承認された】